



# 教員が研究の楽しさを語る

## 第308回(7/15)原口 武士先生推薦 ブックガイド



※掲載されている本はN棟3階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

### Book1 細胞の分子生物学

著者：Bruce Alberts [ほか] 著；青山聖子 [ほか] 翻訳

出版：ニュートンプレス, 2017.10 第6版

コメント：生命科学分野で最も信頼される教科書として世界中で愛読されている本です。細胞内で起こる複雑な分子レベルの現象を、豊富な図版とともに体系的かつ分かりやすく解説した名著です。DNA複製、タンパク質合成、細胞分裂といった基本的な生命現象から最新の研究成果まで、細胞生物学の全貌を理解するための必読書として、研究者から学生まで幅広く支持されています。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac\\_link/bibid/FB10071417](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10071417)

### Book2 ティツ/ザイガー植物生理学・発生学

著者：リンカーン・ティツ [ほか] 編

出版：講談社, 2017.2

コメント：植物の生命活動の仕組みを分子レベルから個体レベルまで包括的に解説した植物生理学の決定版教科書。光合成、水分代謝、ホルモン作用、発生・分化など、植物特有の生理現象を最新の知見を交えながら詳細に説明しています。植物科学研究に携わる研究者や学生にとって不可欠な一冊であり、植物の巧妙な生存戦略と生命の神秘を深く理解することができます。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac\\_link/bibid/FB10074466](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10074466)

### Book3 センス・オブ・ワンダー

著者：レイチェル・カーソン [著]；上遠恵子訳；森本二太郎写真

出版：新潮社, 1996.7

コメント：『沈黙の春』で知られる海洋生物学者レイチェル・カーソンが、自然への畏敬の念と探究心の大切さを綴った珠玉のエッセイ。幼い甥と共に過ごした海辺での体験を通して、科学的な知識以上に重要な「自然に対する感受性」の意味を問いかけます。研究者として自然と向き合う姿勢を見つめ直し、科学の原点である「驚き」と「好奇心」を呼び覚ます、すべての研究者に読んでほしい一冊です。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac\\_link/bibid/CB20518334](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/CB20518334)